

平成 26 年 11 月 6 日および 7 日に日本政府の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の枠組みによる以下の 2 件の契約署名式および供与式がゴランボイ地区、サムフ地区およびギョイギョル地区において実施されました。

1. 署名式「ゴランボイ地区ナディルケンド村飲料水整備計画」

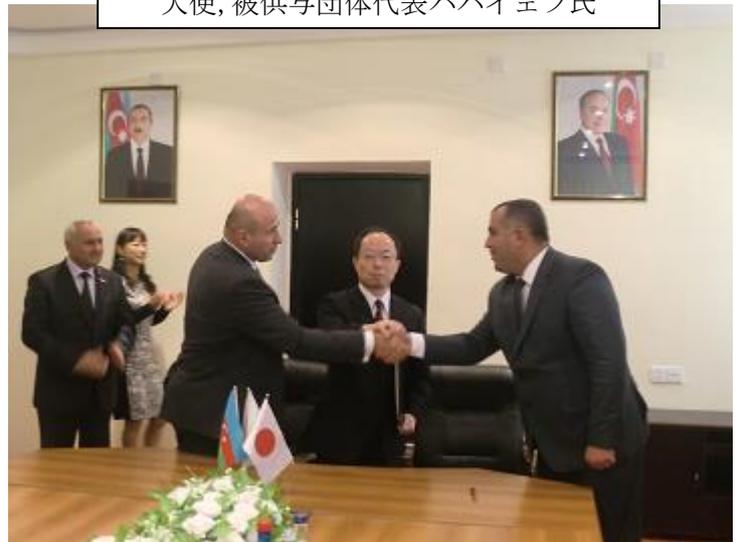
(供与金額103,074米ドル)

飲料水確保に問題を抱えるゴランボイ地区ナディルケンド村において、自然流下式給水システムを整備することにより、ナディルケンド村の約1,550名の村民の安全で豊富な飲料水へのアクセスを可能にし、生活環境を向上させるものです。

契約署名式の様子



右よりアブドライェフ第一副知事, 高橋大使, 被供与団体代表ババイェフ氏



2. 署名式「サムフ地区ゴブラルサリ村診療所建設計画」 (供与金額102,975米ドル)

サムフ地区ゴブラルサリ村に新規に診療所建物を建設し、適切な医療機材を供与することで、同村および周辺 4 村落（サリガミシュ村、サイドラル村、ジヤドゥリ村及びハディリ村）の住民の遠隔地基礎医療における機能向上を図るものです。

契約署名式の様子



右より高橋大使, 被供与団体代表アレクペロヴァ女史, ゴジャイエフ知事



3. 供与式「ギョイギョル地区2村飲料水整備計画」 (供与金額103,083米ドル)

安全な水へのアクセスに問題を抱えるギョイギョル地区キュシュキュ村及びウチュブラグ村において、山の湧水地からの給水システムを整備することにより、約1,500名の村民の安全で豊富な飲料水へのアクセスを可能にし、生活環境を向上させるものです。

高橋大使のアゼルバイジャン語による挨拶



水汲み場に集まった子供達



NGO代表バギロフ氏、高橋大使、アリエフ第一副知事と村の子供達と



新しく整備された飲料水で乾杯！



250 トンの貯水槽



給水管理設工事の跡

